

L:0721-26-7640)にお電話いただくことで、同じ内容を聞くことができます。なお、これらの情報伝達手段については、特に優劣はありません。受信可能なもの、確認が容易なものを選んでいただきますようお願いいたします。

現場状況により、広報車による広報も行います。

(2)「状況に応じた避難行動を心がける」とは、どういった避難行動をとればいいのか。

(2)の回答(農林課)

堤体が地震後直ちに決壊に至らないこと、耐震性を有していることを確認しています。このハザードマップは、ため池の被災による被害を防いだり、災害時に役立てていただく目的で作成しています。

万が一、堤体が決壊するような可能性がある場合は、マップの着色していない場所へ避難してください。事前にどのあたりが着色されていないか把握しておくこと、普段から逃げるイメージ作りをしておくことが大切です。また、堤体には、近づかないでください。

3 南貴望ヶ丘からの住民から

(1)堤防の下流にある南貴望ヶ丘1～4番の住民に対する対応はどうするのか。

(1)の回答(農林課)

南貴望ヶ丘自治会より、寺ヶ池ハザードマップの説明の要請がありましたので、6月11日火曜日、午後7時から南貴望ヶ丘集会所にて、説明を行いました。

(2)その他浸水想定区域内の住民に対する対応はどうするのか。

(2)の回答(農林課)

堤体が耐震性を有していることを確認しており、地震後に直ちに崩れることはありませんので、この地区に特化して何か対応を行うことは想定していません。しかし、かわちながの広報6月号にも掲載しましたが、自治会からの説明要請がありましたら、南貴望ヶ丘自治会と同様に説明を行います。ただし、多くの自治会から要望があればまとめて行います。

(3)堤体が全壊する可能性は確率的に数値化されないか。

(3)の回答(農林課)

直下型地震動と海溝型地震動を対象とした耐震診断を実施しており、阪神淡路大震災や東日本大震災に相当するレベル2地震動に対する解析結果はでており、地震後直ちに堤体決壊に至らないこと、一定の耐震性能を有していることを確認しています。

4 南貴望ヶ丘パークホームズの住民から

(1)パークホームズへの浸水状況が詳しくわかる精度の高い地図情報を提供していただきたい。

(1)の回答(農林課)

作成しましたので、配布しましたA4の資料をご覧ください。